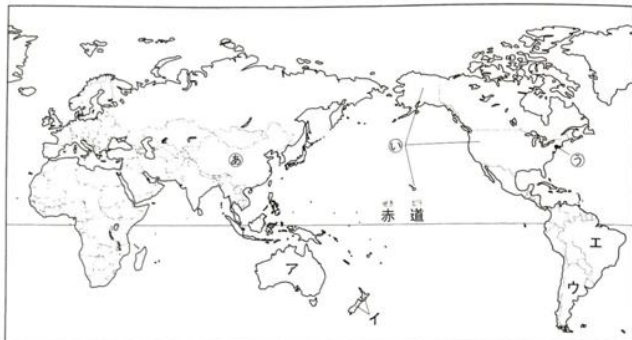


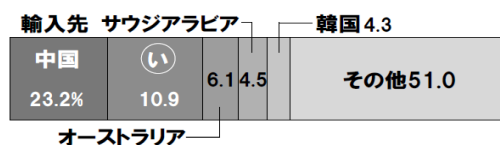
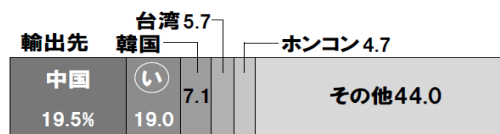
社会

暗記力の向上だけでなく、
資料の読み取りや記述力も上がる！



「ただ暗記すればいい」で得点できる時代は終わりました。令和の時代は、知識事項を頭に入れた上で、それらの知識を結びつけ、多角的な答えを解答させる問題が主流です。また、近年どの教科でも出題されているのが「資料の読み取り」です。この分野で大切なことは、「資料のどの部分を見れば良いか」です。解き方・見方、そして暗記の仕方まで、勉強のコツをプロの講師が伝授します！

- (1) 地図中の「a」の国のようすにあてはまるものを、次のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 南半球の国では石炭や鉄鉱石などの資源にめぐまれ、羊の放牧もさかんである。
イ 首都のソウルは人口1000万人近くで、独特の文字であるハングルを使っている。
ウ 人口は約14億人で、人口の増えすぎを押さえるために「ひとりっ子政策」が行われている。
エ 米の輸出量は世界一で、日本の企業が多く進出している。
- (2) 右のグラフは、わが国の輸出先・輸入先に占める国ごとの割合を示しています。これについて、次の問に答えなさい。
- ① 輸出先・輸入先ともに上位を占めるグラフ「い」の国は、地図中に「い」で示した国です。この国の名前を答えなさい。
- ② 地図中の「う」で示した都市は、「い」の国の最大の都市であり、国際連合の本部もおかれています。この都市を次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア ロンドン イ パリ ウ ワシントン D.C. エ ニューヨーク



理科

テスト頻出の「実験」問題も
「正しい理解」で楽しく学べる！

理科も社会同様、暗記科目だと感じている方も多いと思いますが、暗記するだけではこれからは通用しません。実験から得られた結果や考察を記述させる問題が出題されることはもちろん、資料やグラフから読み取れることを利用した計算問題なども、中学受験や高校入試で頻出しています。小学生のうちに一緒に理解を深めてみませんか？

うすい塩酸、炭酸水、食塩水、石灰水を用いて、次の実験をしました。すると、あとの表のような結果になりました。これについて次の問に答えなさい。

【実験1】 リトマス紙につけて色の変化を調べた。

【実験2】 右の図の装置で熱し、そのときににおいがするか、あとに何が残るかを調べた。

水よう液	A	B	C	D
実験1	赤→青	青→赤	青→赤	変化なし
実験2	においはない。 固体が残った。	においはない。 何も残らない。	においがした。 何も残らない。	においはない。 固体が残った。



- (1) 実験2のとき、危険をさけるために蒸発皿に何を近づけてはいけませんか。
- (2) 次の文の⑦、⑧にあてはまるものを、()の中のa, bからそれぞれ選び、記号で答えなさい。実験2で、においは⑦(a 息を深く吸って b 手であおぐようにして)かく。また、熱するのを止めるのは、⑧(a 液が少し残っている b 液が全部なくなった)ときである。

無料体験生募集中！

教科	対象学年	回数	月謝＋維持費
社会・理科	小5～小6	週1回	5,500円＋1,540円 / 月

※別途教材費等がかかります。

お申込み・お問い合わせは、ニスコ本部 0120-44-3759 までお電話ください。
ニスコのホームページからもお問い合わせいただけますので、ぜひご覧ください。